

# 鷺池周辺の植栽の 保全・活用方向の検討

# 目 次

本資料の範囲

## 1. 検討目的と検討範囲

- (1) 検討目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- (2) 検討範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

## 2. 植栽・景観の分析

- (1) 検討範囲の立地・・・・・・・・・・・・・・・・5
- (2) 歴史的な経緯・・・・・・・・・・・・・・・・6
- (3) 自然環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
- (4) 植栽分布・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
- (5) 眺望景観・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
- (6) 上位計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
- (7) まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

## 3. 植栽・景観の保全・活用の方向

- (1) 保全すべき要素・・・・・・・・・・・・・・・・\*
- (2) 改善・活用すべき要素・・・・・・・・・・・・\*
- (3) 保全・活用の方向性・・・・・・・・・・・・\*

参考資料 高畑町裁判所跡地の整備について（抜粋）・・・・25

# 1. 検討目的と検討範囲

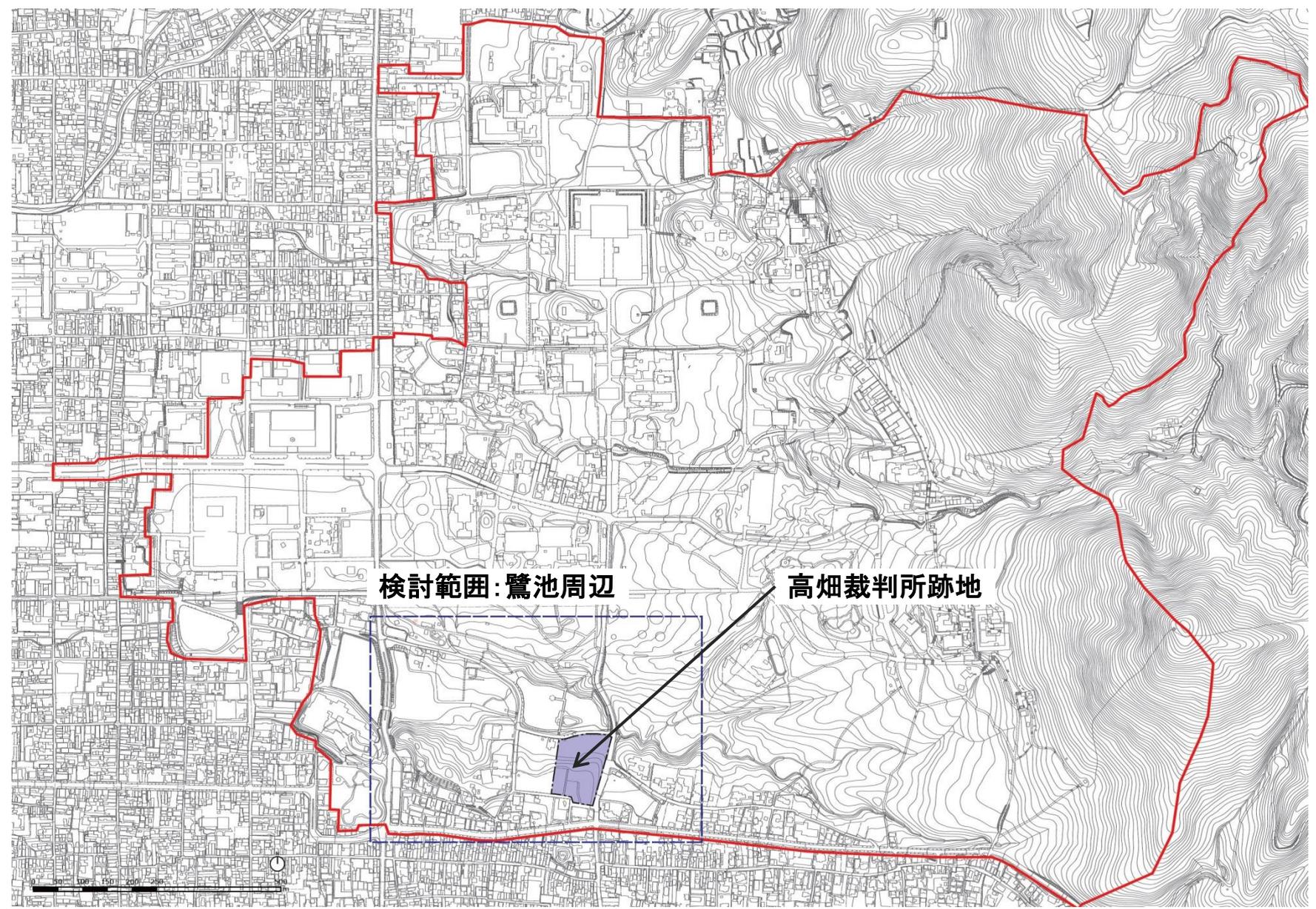
## (1) 検討目的

奈良県は、平成26年度より「高畑町裁判所跡地整備」の事業検討を進めている。この事業では、当該区域を奈良公園（都市公園）に追加して、宿泊、庭園観賞、飲食・交流等の利用ができるサービス施設を整備する予定である。この事業実施を契機にして、高畑町裁判所跡地を含む鷺池周辺の植栽や景観を適切に保全・改善し、この地域の風致的な魅力を高めていくことが期待されている。

このことを踏まえ、本作業は奈良公園植栽計画の検討の一環として、鷺池周辺の植栽及びそれによって形成される景観について、歴史文化、自然生態系、景観等の保全・活用の観点から分析・評価を行い、保全・活用方向の検討を行うものである。

# 1. 検討目的と検討範囲

## (2) 検討範囲



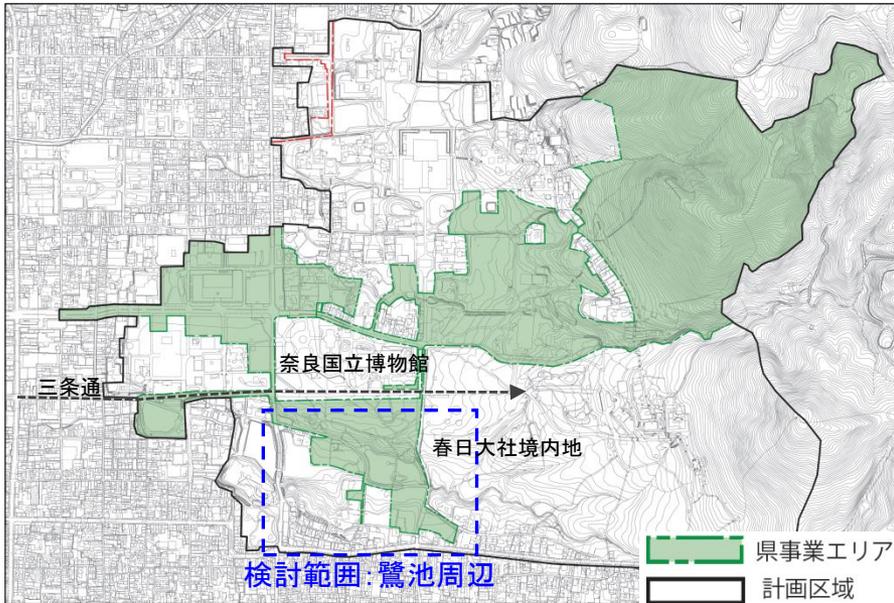
## 2. 植栽・景観の分析・評価

### (1) 検討範囲の立地

#### 1) 検討範囲の位置

##### 特性-1

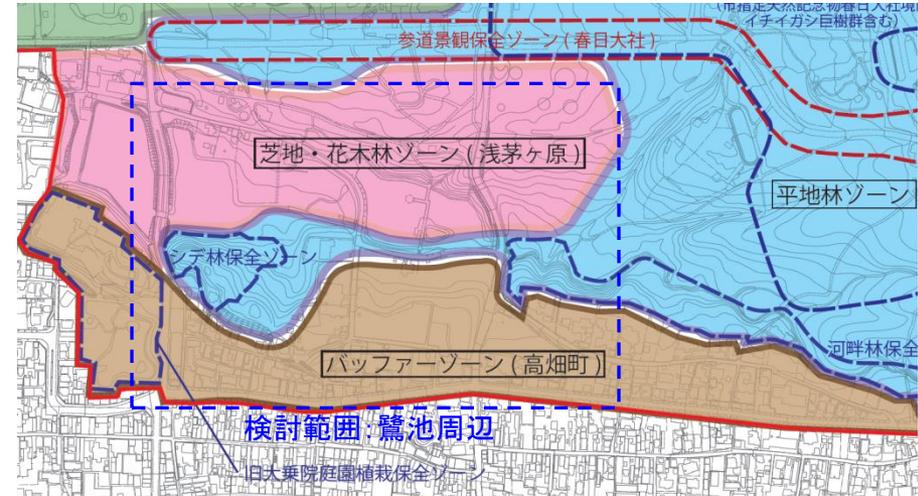
検討範囲は、三条通（春日大社参道）の南に位置し、都市公園区域が大きな面積を占める。



#### 2) 植栽ゾーニング

##### 特性-2

検討範囲は、芝地・花木林ゾーン、平地林ゾーン、バッファゾーンにまたがっている。



注：植栽ゾーニングの見直しについて

上記の植栽ゾーニングは平成24年度に作成されたものである。現在高畑裁判所跡地はバッファゾーンに含まれているが、今後この区域を奈良公園の都市公園区域に追加指定し宿泊、庭園観賞、飲食・交流等の利用ができるサービス施設を整備する事業の検討が進められていることから、それに伴い植栽ゾーニングも見直しが必要になる可能性がある。

# 2. 植栽・景観の分析・評価

## (2) 歴史的な経緯

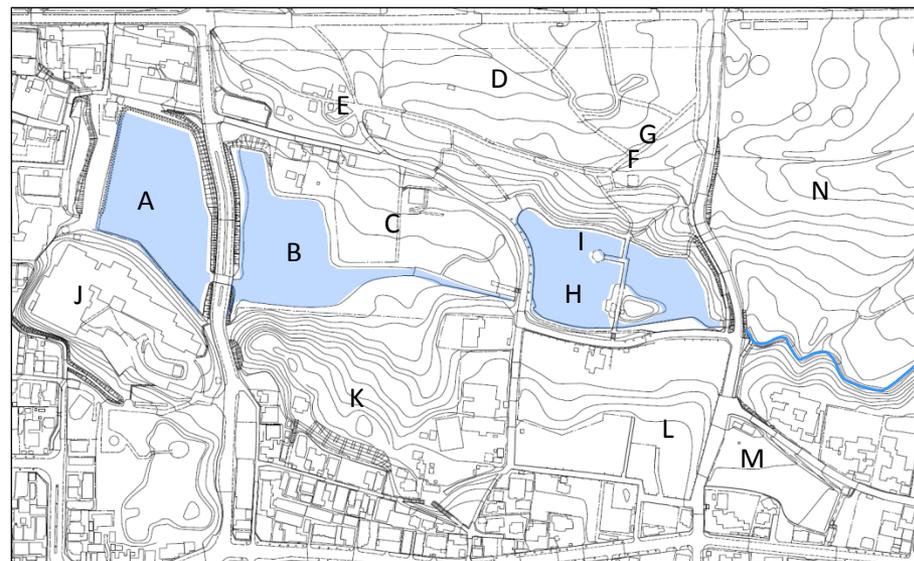
### 特性-3

検討範囲は、明治・大正期に公園や修景池、邸宅等風致を活かした整備・土地利用が行われ、戦後も継承されている。

### 1) 主な来歴

年次	内容
明治21年(1888)	荒池が近隣三町の手で灌漑用水として築造される
明治22年(1889)	春日野・浅茅ヶ原等の名勝地、東大寺・氷室神社等の寺社境内地、若草山・春日山等の山野を含む新奈良公園地(奈良県立奈良公園)を告示
明治26年(1893)	興福寺、東大寺、浅茅ヶ原に梅桜楓が数百本植栽される
明治27年(1894)	円窓亭が春日大社より移築される
明治35年(1902)	浅茅ヶ原に八角亭(現八方亭)が建設される
明治38年(1905)	浅茅ヶ原に梅が植栽される(片岡梅林)
明治40年(1907)	荒池を二分する中央の堤が奈良市により築造される
明治41年(1908)	鷺池が浅茅ヶ原の水景整備の一環として県により築造される
明治42年(1909)	奈良ホテルが大日本ホテル株式会社により開業される
大正5年(1916)	浮見堂が建設される
大正11年(1922)	奈良公園が名勝に指定される
昭和2年(1922)	瑜伽山から高畑町の民有地が名勝奈良公園に追加指定される
昭和26年(1951)	旧松林院跡地が山口家から最高裁判所に移管される
昭和27年(1952)	高畑駐車場が整備される
昭和40年(1965)	片岡梅林に老梅に加えて200本の梅が植栽される
昭和42年(1967)	荒池園地が整備される
昭和47年(1967)	浅茅ヶ原の南斜面に主にアカマツが植栽される
平成17年(2005)	裁判所跡地が最高裁判所から奈良県に移管される

出典:「奈良公園史」ほか



E 八方亭



F 円窓亭



G 片岡梅林



J 奈良ホテル

- A 荒池下池
- B 荒池上池
- C 荒池園地
- D 浅茅ヶ原
- E 八方亭
- F 円窓亭
- G 片岡梅林
- H 鷺池
- I 浮見堂
- J 奈良ホテル
- K 瑜伽山
- L 裁判所跡地
- M 高畑駐車場
- N 飛火野

## 2. 植栽・景観の分析・評価

### (2) 歴史的な経緯

#### 2) 航空写真で見る変化

・ 樹木生長により、樹冠が大きくなり、樹林の鬱閉が進んでいる。

・ 荒池の岸辺の裸地等にナンキンハゼが広がる。



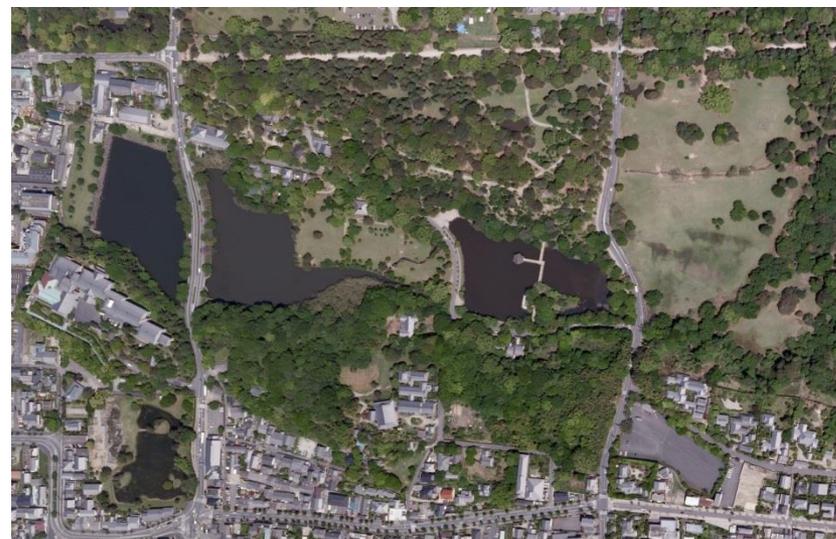
1961年6月



1993年5月



1979年9月



2008年5月

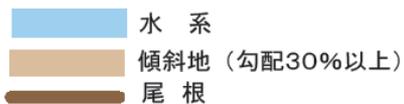
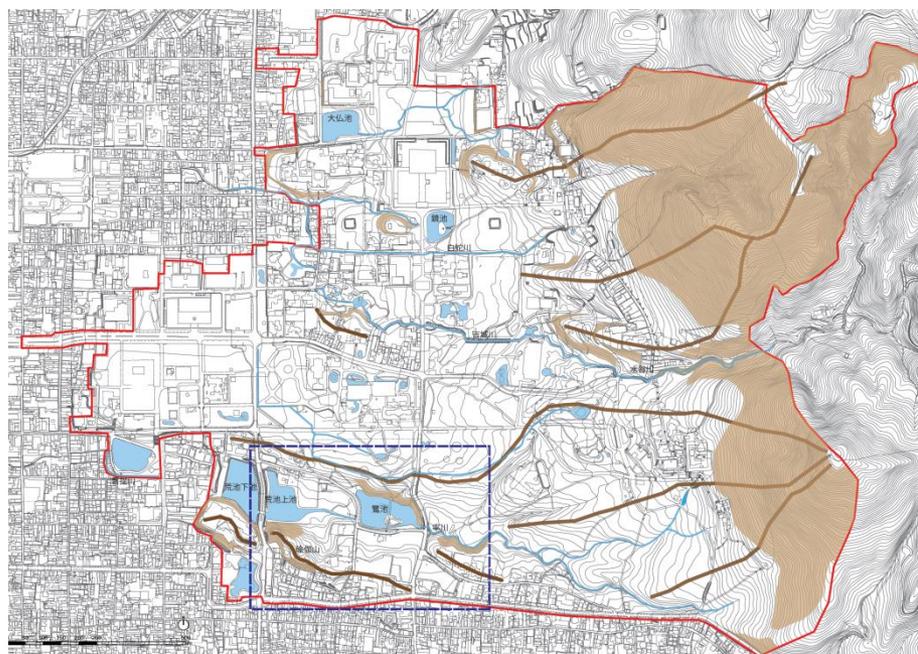
## 2. 植栽・景観の分析・評価

### (3) 自然環境

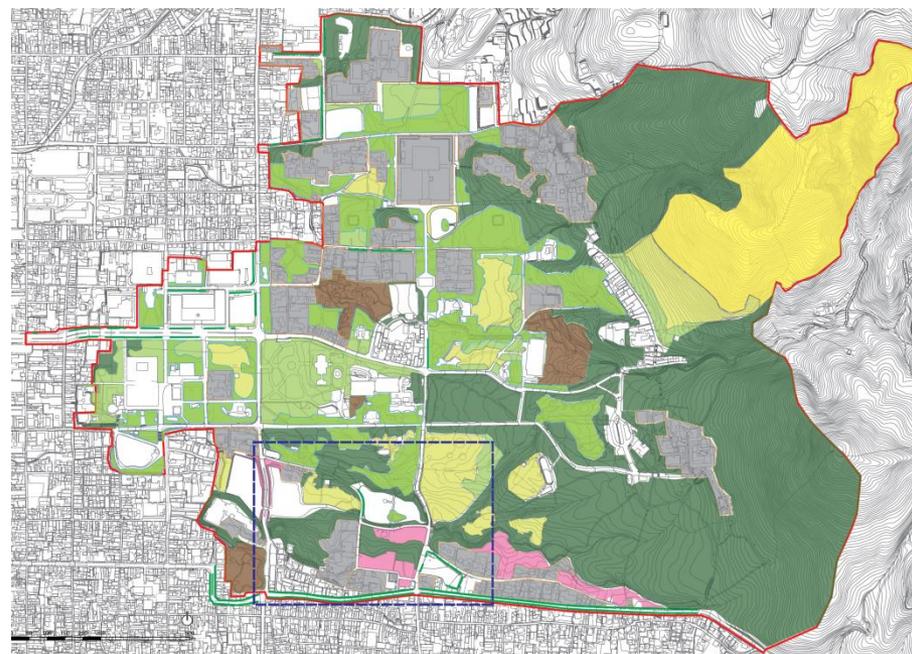
#### 特性-4

検討範囲は、尾根と谷が明瞭で公園内の平坦部では地形変化に富んでいる。自然要素として自然林、芝地、川・池があり自然性は比較的豊かである。

#### 1) 地形・水系



#### 2) 植生区分(鬱閉度他)



## 2. 植栽・景観の分析・評価

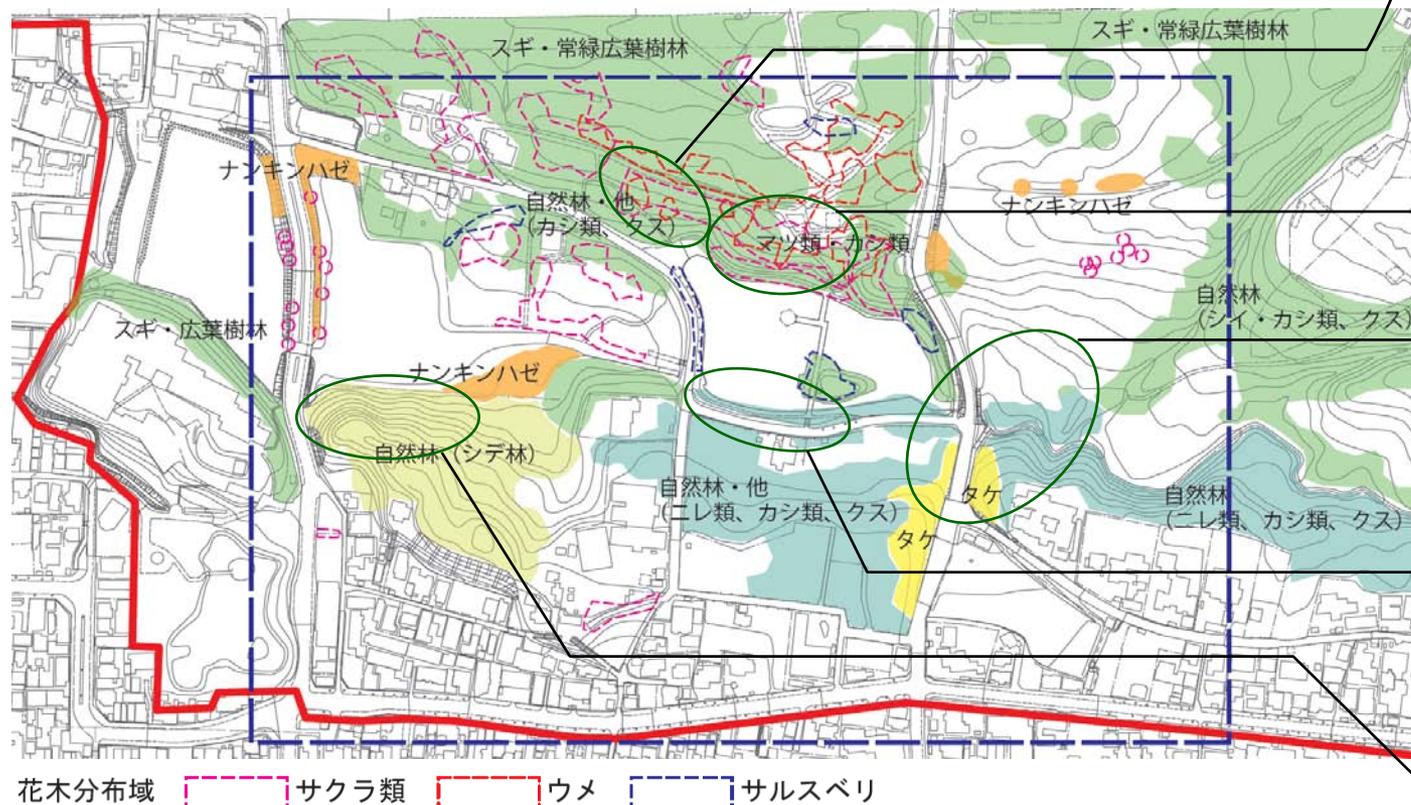
### (4) 植栽分布

#### 1) 概況

##### 特性-5

検討範囲の植栽分布は、歴史的な経緯や土地利用、自然環境が色濃く反映されている。

- ・浅茅ヶ原は春日大社旧境内地であったため、スギとイチイガシの巨木が点在する。
- ・都市公園区域である浅茅ヶ原、荒池園地、鷺池には、植栽された花木類が多く見られる。
- ・浅茅ヶ原の鷺池に接する南斜面地には、昭和40年代に植栽されたアカマツが残る。
- ・率川沿いには、ケヤキ等のニレ類が多く見られる。
- ・瑜伽山はシカが立ち入るためシデ林(低木層が貧弱)となっている。
- ・荒池の水辺には実生のナンキンハゼ純林が見られる。



## 2. 植栽・景観の分析・評価

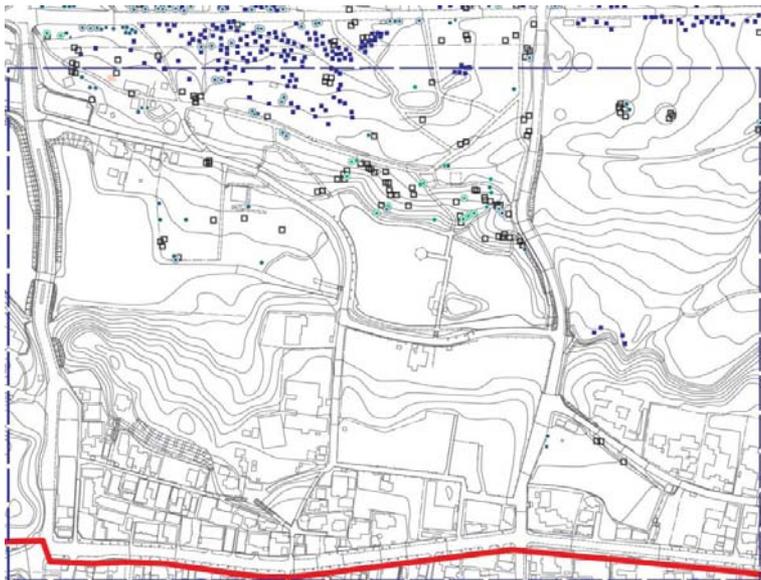
### (4) 植栽分布

#### 2) 松・杉・桜・楓

- ・奈良公園の代表的樹種である松・杉・桜・楓は、都市公園区域に集中している。
- ・マツ類は昭和40年代の植栽した浅茅ヶ原の南斜面に分布するが、枯死が非常に多い。
- ・スギ類は、春日大社参道沿いから浅茅ヶ原（春日大社旧境内地）に広がる。巨木も点在している。
- ・サクラ類は浅茅ヶ原と荒池園地、荒池中堤に多く、水辺はソメイヨシノが、その他はナラノココノエザクラとナラノヤエザクラが多い。
- ・カエデ類は、浅茅ヶ原主体に分布し、大半はイロハモミジである。

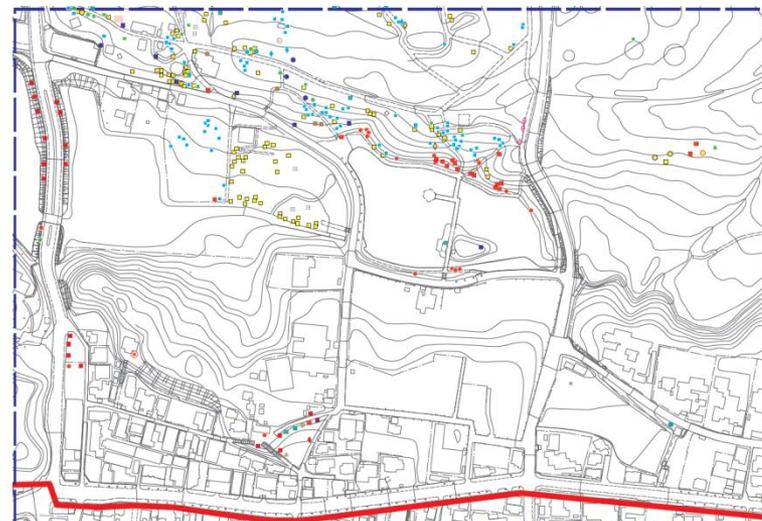
#### ① マツ類・スギ

- クロマツ
- アカマツ
- スギ
- マツ類 枯死・伐採 (2000年頃～2011年調査※⇒2013年調査)



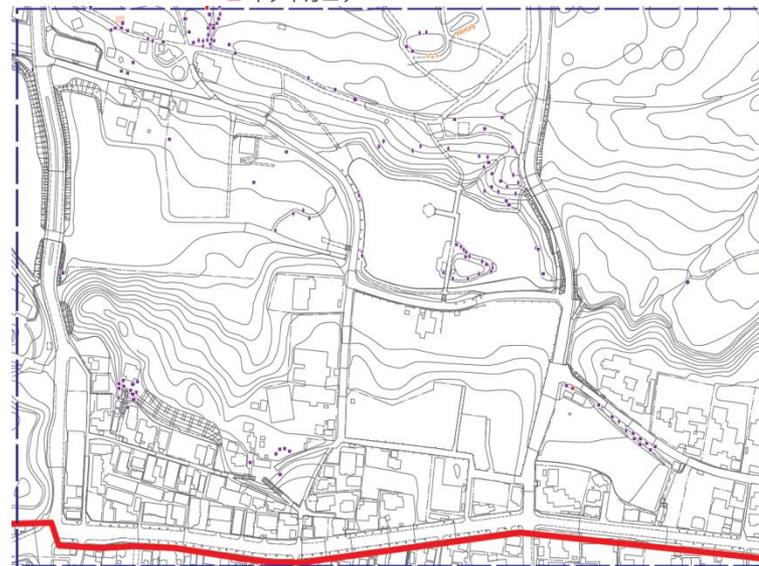
#### ② サクラ類

- エドヒガン
- ソメイヨシノ
- ナラノココノエザクラ
- ナラノヤエザクラ
- ヤマザクラ
- オオシマザクラ
- 関山
- カスミザクラ
- シダレザクラ (詳細不明)
- その他の品種



#### ③ カエデ類

- イロハモミジ
- ヤマモミジ
- イタヤカエデ

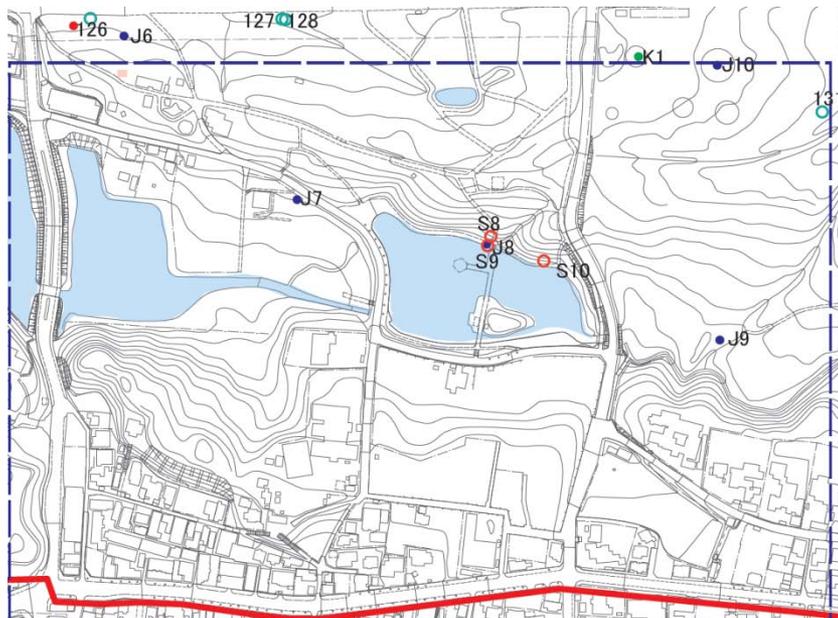


## 2. 植栽・景観の分析・評価

### (4) 植栽分布

#### 3) 重要樹木・巨木

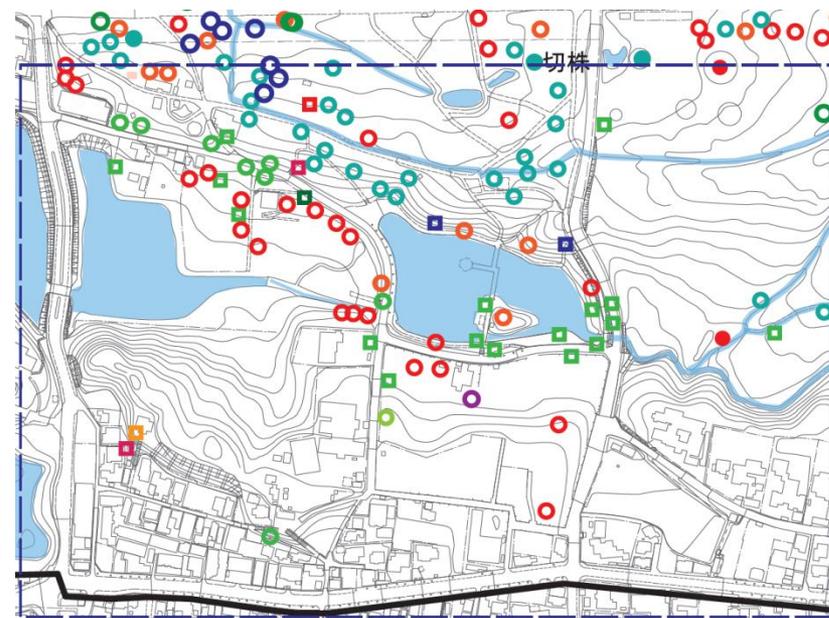
##### ①重要樹木(平成25年度調査)



NO	樹種名	形状寸法		選定区分		
		樹高	幹周	巨樹リスト	巨樹群	大径木
J006	イチイガシ	21.3	5.05	○		
J007	エノキ	17.8	2.46	○		
J008	ソメイヨシノ (S009)	8.3	2.37	○		
J009	クスノキ	16.7	6.71	○		
J010	クスノキ	23.1	3.43	○		
J011	クスノキ	33.6	5.10	○		
K001	イチイガシ	14.5	3.77		○	
127	クロマツ	21.3	2.46			○
128	クロマツ	19.0	2.56			○
131	クロマツ	17.6	2.18			○
S008	サクラ	6.2	2.12			○
S010	ソメイヨシノ	8.4	1.73			○

重要樹木は、「いわれのある樹木」「文献等に記載のある大木等」「マツ、サクラ、カエデの大径木」を調査したもの

##### ②その他の大径木の分布(平成26年度調査)



巨木 大木

- アラカシ
- イチイガシ
- シラカシ
- スダジイ
- クスノキ
- スギ
- アキニレ
- エノキ
- ケヤキ
- ムクノキ
- イヌシデ
- ムクロジ

- ・ その他の大径木は、マツと花木以外の樹種で、幹周1.8m以上の樹木（想定樹齢90年以上）」の分布を調査したもの。
- ・ 巨木は幹周3m以上の樹木を示す。



イチイガシ(浅茅ヶ原)



ムクロジ(浅茅ヶ原)

## (4) 植栽分布

### 4) まとめ: 保全・改善すべき樹林・樹木

#### ① 歴史文化的価値のある樹林・樹木 (保全すべきもの)

歴史文化的価値がある以下の樹木は保全すべきである。

- ・ マツ類、スギ、サクラ類、カエデ類、ウメ (片岡梅林)
- ・ 重要樹木及びその他大径木



ソメイヨシノ



ウメ(片岡梅林)



イチイガシ



クスノキ



アカマツ



スギ

#### ② 自然環境保全のため保全・改善すべき樹林・樹木

- ・ 自然環境保全のため、自然林は保全すべきである。
- ・ 自然環境保全のため、ナンキンハゼは駆除すべきである。

